

交換留学プログラム 帰国アンケート

作成者情報

・ 氏名	K. N.		
・ 学部・学科	大学院理工学研究科 システム理工学専攻		
・ 性別	男性		
・ 学年（参加開始時）	修士1年生		
・ 後輩からの質問メール可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 否	
・ イニシャルでの記載を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない	

プログラム基本情報

・ 参加プログラム種別	交換留学（研究室配属型）	・ 国名・地域名	ドイツ
・ プログラム開始日	2019/9/12	・ プログラム終了日	2020/2/15

・ このプログラムに参加した理由、きっかけ

私の所属する研究室にケンブテン大学から留学生が来ていたため、教授から誰かケンブテン大学に行かないかという提案がありました。欧州やドイツの文化に興味を持っていた私はすぐに立候補し、留学に行くことが決まりました。

留学先情報

・ 国名・大学・機関・企業名	ドイツ	ケンブテン大学
----------------	-----	---------

・ 主な履修科目もしくは研究内容

運転操作の負担軽減を目的としたサイドミラーの配置に関する研究

滞在先情報

・ 滞在先の種類	大学の寮	・ 宿泊先手配方法	留学先スタッフの仲介
・ 空港⇄留学先機関の交通手段	鉄道（Sバーン、RE）		
・ 通学／通勤方法	徒歩		
・ 滞在先の様子	ケンブテンはドイツで最も歴史のある街と言われており、ヨーロッパらしい美しい街並みを見ることができます。夜でも大変治安が良く、ショッピングモールがあるため大抵のものは揃えることができました。		

留学についての感想

ドイツは日本と似ている部分があり、すぐ生活に馴染むことができました。ケンブテン大学にいた日本人学生は私一人だけでしたが、現地の人々は優しくフレンドリーで、不安を感じることは一切ありませんでした。日本の常識に捉われず、日々新しいことにチャレンジすることができ、自分の可能性を広げられたと感じています。

参加を検討している方へのアドバイス

今はスマートフォンがあるので、大抵の問題はインターネットで調べたり、翻訳アプリを使ったりすることで解決できます。英語も通じることが多く、しかもドイツ人の英語は比較的簡単で理解しやすいです。そのため、英語圏でないにも関わらず、ほとんど不自由なく過ごすことができました。さらに学費がほほかからないうえ、物価も日本とあまり変わりません。ドイツでの生活は渡航前に想像していたものよりずっとハードルが低く感じたので、興味があればぜひ一歩踏み出してほしいです。

写真4枚(留学/研修先、滞在先、その他参加プログラムの様子がわかるもの)

写真を4枚を貼り付け、それぞれの写真に説明分を加えて下さい。写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

写真①



説明文

ミュンヘンのオクトーバーフェスト

写真②



説明文

ケンプテンのクリスマスマーケット

写真③



説明文

研究用の設備 (ドライビングシミュレータ)

写真④



説明文

シュトゥットガルトのポルシェミュージアムにて

必要な事前準備 (生活面・留学面)

- ・ VISA申請時に必要な書類
- ・ 入居時に必要だった書類
- ・ その他必要な事前準備

残高証明書 証明写真 その他 保険証券、受入許可証
 健康診断証明書 その他 ()

留学中の費用（概算）

<支出>

内訳	金額（日本円）	備考
往復航空券代+ビザ申請料	21.2万円	ビザの申請は1.2万円、航空券は10万円～（購入時期や航空会社による）
保険料	9万円	治療費が無制限であることがビザ取得の条件、満たさないと別途保険加入の必要あり
授業料/学期	1万円	
通学・通勤費用/月	0円	
住居費/月	3.5万円	WG（シェアハウス）なら2.7万円
食費/月	2.5万円	自炊
交際費/月	0円	
その他費用	4千円/月	TV受信料:2千円/月、SIMカード:2千円/月

<奨学金情報>

奨学金名	金額
芝浦工業大学 海外留学奨学金	8万円/月

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。

